

企画展関連講演会を開催

飢饉への備えを説いた、建部清庵

11月18日、企画展「^{ききん}飢饉を生きる」関連講演会を市役所多目的ホール棟で開催し、市内外から約40人が参加。一関市博物館副館長兼学芸主任主査の相馬美貴子氏が講師を務め「飢饉への備えを説いた、^{たけべせいあん}建部清庵」と題して講演しました。

一関藩医の清庵は、日本で初めて救荒書(飢饉対策を懇切丁寧に説いた本)を著した人物です。出版した『民間備荒録』には、飢饉の際に起こるさまざまな問題への対処法が記されています。また、食用の草木やその食べ方を図示した『備荒草木図』を著し、飢饉で飢えに苦しむ民衆を救いました。

講演で相馬氏は「当時の人が残した記録を語り継いでいきたい」と述べました。



講演する相馬氏

企画展「飢饉を生きる」開催中

『民間備荒録』『備荒草木図』などを展示しています。

▶期間 31年1月16日(水)まで
▶時間 午前9時から午後4時半まで(ただし入館は午後4時まで)



市内の遺跡を巡るバスツアー

10月23日、遺跡を巡る歴史バスツアーを開催し、22人が参加。有矢野館跡や長者屋敷遺跡、復元された釜石環状列石があるさくら公園、田頭城跡を巡りました。

また、八幡平アスピーテラインに立ち寄り、秋の紅葉も楽しみました。



復元された釜石環状列石を見学

貸し出し冊数が増えます

年末年始は読書を楽しみましょう

年末年始の長期休館を前に、貸し出し冊数の上限を10冊まで増やします(視聴覚資料およびコミセン図書室の資料を除く)。この機会に、読んだことのないジャンルの本にチャレンジしてみませんか。

■貸し出し冊数が増える期間 12月14日(金)から27日(木)まで

■休館期間 12月28日(金)(図書整理日)、12月29日(土)から31年1月3日(木)まで(年末年始の休館日)

※休館期間中の返却は、返却ポストをご利用ください。

間もなく終了! 読書マラソン

7月20日から開催中の読書マラソンは、12月27日(木)で終了します。読書マラソンの参加者は、スタンプカードの提出をお願いします。

■スタンプカード提出期限 31年1月9日(水)

◆新着図書の紹介

◎『ノラネコぐんだん おばけのやま』 著:工藤ノリコ 出版社:白泉社
ワンワンちゃんのだんご屋さんをのぞいていたノラネコぐんだん。夜中にお店に忍び込み、勝手におだんごを作って食べようとしたその時、おだんごが風にまかれて飛んで行ってしまいました。ノラネコぐんだんのおだんごを盗んだのはいったい誰でしょう?



書名	著者名
ホモ・デウス テクノロジーとサピエンスの未来 上・下巻	ユヴァル・ノア・ハラリ
みそ汁はおかずです	瀬尾 幸子
知って得する! おうちの数学	松川 文弥
没イチ パートナーを亡くしてから生き方	小谷 みどり